

コンピテンス達成度評価簡易マニュアル(学生向け)

1. コンピテンス達成度評価の導入について

筑波大学では、令和 2 年 4 月に大学院の改組・再編を行い、学位プログラム制を導入しましたが、それに伴って筑波大学大学院の学生が修了時に身につけるべき知識・能力等を「コンピテンス」として設定することとなりました。人文社会科学研究群に入学した博士前期課程、博士後期課程の学生も、**学位取得までに、学位プログラムが設定するコンピテンスの基準に到達する必要があります**があります。

筑波大学大学院を修了した学生全員が身につけているのが「汎用コンピテンス」であり、博士前期課程と博士後期課程とは若干異なりますが、それぞれ 5 つが設定されています。それ以外に、学位プログラムの定める「専門コンピテンス」があり、博士前期課程、博士後期課程とも、人文学学位プログラムは 5 つ、国際公共政策学位プログラムおよび国際日本研究学位プログラムは 3 つを設定しています。

2. コンピテンスの達成についての考え方

各学位プログラムとも、「カリキュラムマップ」において、自組織が開設している個々の授業科目、および授業科目以外の評価項目について、**どのコンピテンスの項目の何単位分に相当するかという基準値**を示しています。また研究群では、大学院共通科目や学術院共通専門基盤科目、研究群共通科目の基準値を示しています。

たとえば人文社会科学研究群博士前期課程の学生にとって必修の「修士論文合同演習」(1 単位)は、「カリキュラムマップ」を見ると、「汎用コンピテンス」の「知の活用力」が 0.2 単位分、「コミュニケーション能力」が 0.2 単位分、「専門(学位プログラム)コンピテンス」の「研究力」が 0.3 単位分、「専門知識」が 0.3 単位分となっています。それぞれの項目の基準値を合計すると、「修士論文合同演習」の 1 単位と同じになります。つまり「修士論文合同演習」は、「知の活用力」、「コミュニケーション能力」、「研究力」、「専門知識」を修得させる科目であり、授業の内容は、前二者が 1 単位のうちの 20% ずつ、後二者が 1 単位のうちの 30% ずつに相当するものだと考えています。

同様に「研究法入門」は、「知の活用力」が 0.2 単位分、「研究力」が 0.5 単位分、「倫理観」が 0.3 単位分の内容となっており、合計 1 単位です。人文学学位プログラム博士前期課程の学生なら、この二つの科目だけで、「知の活用力」は、達成基準 3 単位のうちの 0.4 単位、「研究力」は、達成基準 3 単位のうちの 0.8 単位を修得したということになります。この場合、成績評語は、A+や A が望ましいところですが、B や C でも、単位が取得できていれば、達成度評価基準を満たすための単位数に算入することができます。したがって**修得した授業科目のそれぞれのコンピテンスの項目の基準値をすべて足し算した値が、学位プログラムの定める達成度評価基準に到達していれば、その項目のコンピテンスは修得できた**、ということになります。

コンピテンスは、おおむね、修了要件を満たせば達成できるようにしていますが、一部の課程（とくに博士後期課程）では、修了要件を満たすだけでは達成できない場合もありますので、注意してください。修了要件以外の科目の履修や、学会活動、フィールド調査、インターンシップなどによっても、コンピテンス達成に必要な単位数の一部に相当するものと認定されることがあります。

したがって自分が、コンピテンスをどの程度まで達成しているのか、半年ごとに、「カリキュラムマップ」に示されている基準値を計算して自己評価し、それをもとに指導教員と綿密に相談して、必要に応じて履修計画を変更し、学位論文提出時には学位プログラムで定めている達成度評価基準を満たしているようにしてください。

3. コンピテンス達成度評価の方法

(1) 評価の時期

・博士前期課程の場合

1年次 9月(学期末)、3月(年度末)

2年次 9月(学期末)、中間発表時、修士論文提出時

・博士後期課程の場合

1年次 9月(学期末)、3月(年度末)

2年次 9月(学期末)、3月(年度末)

3年次 9月(学期末)、予備審査時、博士論文提出時

・休学をした学期については記入不要です。「学期末」「学年末」は適宜、書き換えてください。

(2) 評価の方法

- (a) 学生自身が、カリキュラムマップを参照して「達成度評価シート」に記入し、コンピテンスの達成状況を確認する。
- (b) 指導教員と面談し、「達成度評価シート」に基づき、コンピテンスの達成状況について相互に確認し、コンピテンスの達成度を判定する。授業以外の学修・研究活動(学会参加、インターンシップ等)の状況についても、コンピテンス達成に必要な単位数の一部に相当するものと認定できる。不足がある場合は指導教員と話し合って履修計画を変更する。
- (c) 達成度評価を踏まえ、次の学期の科目の履修を決める。
- (d) 「達成度評価シート」は、保管し、次の達成度評価のときに書き加えていく。
- (e) 以上のサイクルを半年ごとに繰り返す。

(3) その他

- ・早期修了予定者は、学位論文提出資格の認定時にコンピテンス達成基準を満たしている必要があります。
- ・今後、学位プログラムで論文博士を取得する場合にも、学位プログラムのコンピテンス達成度評価基準に到達することが必要になります。

以上の詳しい説明は、以下のリンク先にある「人文社会科学研究群履修ガイド」15～24頁をご覧ください

ください。また**カリキュラムマップ**も以下のリンク先を参照してください。

<https://www.hass.tsukuba.ac.jp/curriculummap>